

心通

ここひろ青梅

東京都青梅市藤橋2-614-18
 TEL : 0428-78-2455 (居宅・訪問)
 東京都青梅市河辺町1-816-10
 TEL : 0428-23-8220 (用具)

訪問看護ステーションおれんじ

東京都あきる野市草花3682番地
 TEL 042-533-3401

地域ケアサポート館 福わ家・小規模多機能ホーム

東京都青梅市藤橋2-614-18
 TEL : 0428-78-2100

地域ケアサポート館 福わ家・グループホーム

東京都青梅市藤橋2-614-6
 TEL : 0428-78-2100

地域ケアサポート館 福ら笑 (ふらわー)

小規模多機能ホーム・グループホーム

東京都羽村市川崎1-7-8
 TEL : 042-555-6678



令和3年12月号

やさしさシリーズ



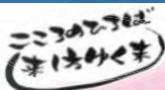
訪問看護ステーションおれんじの利用者さんの作品です。
 いろいろな場面で素敵な才能を披露してくれます。
 作品に込められているものはもちろん「愛」です。

愛！きた～！





11月11日 介護の日と言われているのはご存じでしょうか？「いい日、いい日、毎日、あったか介護ありがとう」を念頭に、「いい日、いい日」にかけた、覚えやすく、親しみやすい語呂合わせとされたようです。青梅市のほうでもイベントが行われまして、ここひろ青梅ここひろショッピングが僭越ながら講師を受けることになりました。「選んで安全！転ばぬ先の杖編」という内容で行いました。杖の種類・使い方・選び方をメインにお話をし、最後は普段見慣れないような杖もご覧いただきましたが、そもそもが『自分に合うものが分からない』『誰に聞けばいいのかわからない。』という声や『こんな杖があるとは知らなかった』という声もありました。杖の選定・紹介などそういった役目を担うのが我々福祉用具専門相談員ですので、気になる方や、まだ使わないけどお話だけでもとか、プレゼントしたいとお考えの方などいらっしゃいましたら、是非ご連絡下さい。杖はまさに文字通り「転ばぬ先の杖」です。お天気のいい日に杖を片手にお出かけしてみませんか？ 錦織



内側の「壁」

ベルリンの壁が1989年11月9日に崩壊して約32年が経つヨーロッパで、今まで国境の壁の建設が進められているそうです。難民や移民の問題があるそうですが、この「壁」、人間や組織が進化する際に何かしらの意味を持って、必ず作られてきたように思います。根源には「異質な他者との分断」があるのでしょう。わざわざ壁を作つてまでして人と人とのわだかまりをこしらえるなんて。。。

身近なところでも人と人とのわだかまりによる壁は多数存在します。この壁は自らが作る内壁と、相手側からつくられる外壁があって、二枚重なることによって分厚くて壊しにくい。さて、今年開催されたオリンピックの目的は、「スポーツを通して心身を向上させ、文化・国籍などさまざまな違いを乗り越え、友情、連帯感、フェアプレーの精神をもって、平和でよりよい世界の実現に貢献する」ことでした。分断の歴史を重ねてきた私たちだけど、このオリンピックをきっかけに「異質な他者との共存」を体験することができました。国境の壁では異質な他者との分断を生みますが、オリンピックでは異質な他者との共存を生むことができる。つまり私たち人間には壁を作ることも、壁を乗り越え、あるいは取り払つて共存することもできるということがわかります。

まずは僕から、自分が作ってしまっているかもしれない内側の「壁」を取り払つていくとしよう。それをだれもができたらどんな世界になるんだろう。

心のひろば代表 井上 信太郎



【青梅市藤橋】
地域ケアサポート館 福わ家
小規模多機能ホーム/グループホーム

外は外
ふくわ～うち



ご近所の皆さんから大根を沢山頂きました。
自家製切り干し大根を作っています。



地域の方の畑にお邪魔し芋掘り
を体験させて頂きました。



【羽村市川崎】
地域ケアサポート館 福ら笑
小規模多機能ホーム/グループホーム

笑
う門には福来たる

町内会の方たちとハイキン
グへ行ってきました♪



記念にパシャリ♪



地域の方とも自然と会話が
弾みます♪



木の棒を杖代わりにすれば楽だよ。
近所の子供：うわーかっこいい！

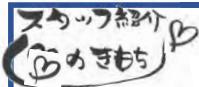


登録ヘルパーさん募集中！ 一緒に働きませんか？♪

週1から、1日1時間からでもOKです。 70代も元気に活躍しています♪

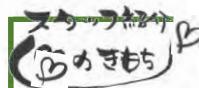
お気軽にお問い合わせください。 TEL 0428-78-2455 担当 重藤





福ら笑勤務 本橋 洋子

こんにちは。福ら笑の本橋です。福ら笑に来て、来年の4月で丸2年になります。計画作成はいまだに難しいですが、元気な利用者さん、スタッフの皆さんから元気をもらっています。24才で結婚し、子育てに（男の子2人、女の子2人）専念して、末っ子が3歳の頃また働くことに。求人で見つけたディサービスに就職。それから特養（長かったです）を経て、心のひろばでお世話になっています。介護と言っても、ところ変わればこんなに違いがあるんだなと感じています。プライベートでは、孫が3人のばーばです。休みの日に、孫と公園で遊ぶのが楽しい時間ですが、もうすぐ4歳の孫にかけっこで負けそうになり、焦りました。ばーば大好き！と言ってくれたりするのが嬉しく、いつかディズニーランドに孫たちと一緒に行ける日がくればいいなあと考えています。



福ら笑勤務 秋山 健一

こんにちは。福ら笑で働いている秋山健一です。元々介護の仕事はしていたのですが色々あり一度離れていきました。しかし、もう一度働きたいと門をたたいたのが“心のひろば”でした。それが気づけば10年目に突入。月日が経つのは早いものでもう45歳のおっさんになってしまいました。最近は身体のあちこちが痛みだし忍び寄る老化に日々ビクビクしています。趣味は美味しいラーメンと餃子を食べに行くこととプラモデル作り。今の社会情勢では外出が難しいですが今か今かとタイミングを伺っています。美味しいお店があったら是非教えてください。もう一つのプラモデル作りも中々作れず溜まっていく一方。時間を見つけて作ろうと思います。長々となっていましたが、今の環境を与えてくれた心のひろばに感謝しつつ素晴らしい仲間たち、いつも笑顔をくれる利用者様方に支えられながらこれからも頑張っていこうと思いますのでよろしくお願いします。



訪問看護ステーション合同会社 おれんじ

訪問看護ステーションおれんじでは訪問時、認知行動療法を活用することがよくあります。つらくなったときに頭に浮かんだ考え方やイメージに注目して、バランスの良い考え方へ変える目的です。少し立ち止まり、その時々に感じるストレスを和らげる方法と一緒に探していく、楽な気持ちで、もっと自分らしく生きられる可能性を見つけていきます。

看護師 中野



訪問時に見つけた11月のひまわり畑です。



介護保険と医療保険



介護保険のないまち



40歳以上の人人が加入する介護保険、サービスを利用できるのは、65歳以上または、40歳から64歳までの特定疾患のある方です。利用の際は、まず介護認定を受けます。介護度により、利用限度額が決められており、自己負担の割合は所得に応じて1割～3割となっています。一方 医療保険は、国民全員が加入し、病気やケガなどによる診察や治療、薬の処方、入院、手術など、医療機関でのサービスが誰でも利用でき、限度額はありません。どちらも公的な社会保障制度であるため、原則同じ診断名での保険の併用は出来ません。介護認定を受けている場合は介護保険のサービスが優先されます。

大極